



マッサージ イン スクール プログラム
Massage In Schools Programme

～子ども同士のふれあいを通して 思いやりの心を育み、
朝一番の愛情あるマッサージが脳へと働きかけ
集中力・好奇心を高める～

MISP とは？

MISP (マッサージ・イン・スクール・プログラム) は就学児 (4-12 歳児) 同士が学校で行えるように開発されたマッサージです。ペアになった児童が着衣のまま相手の上半身に 10～15 分程度のマッサージを行います。器具もマッサージオイルも必要とせず、場所を選ばない利便性の高いものです。インファント (乳幼児) マッサージを普及させるために世界各地で活躍しているミア・エルムサター (スウェーデン) とシルヴィ・エチュ (カナダ) によって 2000 年に創始されました。

MISP の普及組織とは？

活動母体はイギリスに本部を持つ非営利団体である Massage In Schools Association (マッサージ・イン・スクール・アソシエーション <http://www.messageinschools.com/> 本部 HP は英文) で特定の宗教と関係を持たない国際組織です。現在イギリス、アイルランド、スウェーデン、カナダ、オーストラリア等でインストラクターが普及に努めています。日本では 2005 年にインストラクター養成講座が開始され、2006 年からは日本人講師・草間裕子 (日本インファントマッサージ協会会長) が直接教鞭を取ることでインストラクター数が着実に増加し、全国にインストラクター網が広がっています。

今なぜ MISP？ 子供のいじめ、不登校などが連日報道される現代において

相手に対する敬意を示すコミュニケーションツールとしてマッサージをとらえており、「マッサージをしてもいいですか？」と相手に許可を求めてから開始し、終了時には「マッサージさせてくれてありがとう」とマッサージを受けてくれた相手に対して感謝の気持ちを表す一連の流れがあります。対人関係のマナーを学び、関係性をどう構築するか学ぶのにふさわしいアプローチです。学級崩壊・反社会的行為へ走る子供たちのセーフティーネットとしても期待できます。またマッサージのストロークは子供が楽しみながら覚えられやすいような親しみやすい名前がついており、ストロークもなじみやすいものになっていますので学年を超えて幅広い年齢層に対応することができるのです。

MISP の活用方法は？

一連のルーティンの他に国語・外国語・算数・理科・地理・気象・音楽などの科目と組み合わせて学習効果を高めることも期待できます。みんなで遊ぶゲームのように取り入れることも可能です。子供が基礎手順を覚えたら、マッサージは 15 分以上かかることはありません。導入中も子供の限界を超えて教えることはありませんので、無理なく定着しやすいようになっています。授業を始める前に行うことで、一日を穏やかな優しい気持ちで始めることができるというメリットもあります。そしてリラックス度が上がることで、授業での集中力も増加するという研究結果が報告されています。マッサージ後は授業にそのまま移行することができます。相手を尊重し流れに逆らわないことを大切にしながら導入しますので、児童に身体的な理由や特殊事情がある場合にはマッサージの手順を一部省くことも可能です。

MISP が目指すところは？

世界中の学校システムに健全な触れ合いを広げていくことを目的としており、健全な人間関係の基礎であるケアと敬意に焦点をあてています。子供にとって成長発達のためにオープンで安心できる安全な環境を作り出すツールとして考案されており、子供がマッサージをする主体となり相手とのコミュニケーションを深めます。これらを少年期・少女期に学ぶ機会を提供することによって、相手を察しながら対話できるヒューマンスキルの高い人物育成へ貢献できることを願っています。

お問い合わせ先：日本インファントマッサージ協会 <http://www.iaim.jp/>
東京都中野区本町 3-3-1 1-101 電話 03-3372-6644